



議会たより

第182号

令和4年
11月発行

きんじょう さあや
題字：金城咲彩さん
嘉手納小学校5年



～主な内容～

- | | |
|--------------------|-------------|
| 令和4年9月定例会 | P 2~6 |
| 町政を問う! 14名の議員が一般質問 | ... P 7~21 |
| 題字紹介・職人紹介 | P 22 |

まちの職人紹介 Vol.7

幸地 武男さん

※撮影のため、一時的にマスクを外しています。

吉毛納町議会

検索

町議会を傍聴し、車いすの方々の実例会は3月6日9時12時に開かれます。

予算は適切に使われたか



第三保育所完成予想図

9月定例会

令和4年第17回（9月）定期会を9月7日から27日までの日程で開いた。本定例会では、令和3年度決算認定（一般会計、水道事業会計、3特別会計）及び、令和4年度補正予算3件を含む議案11件、報告2件、発議2件、陳情3件を可決した。

Q 沖縄県内における基地所在地自治体に置して、嘉手納町は大体どの程度に位
置しているのか、傾斜配分の額は。また、国の評価基準に変わりはないのか
平成25年度分からほぼ5億円で推移していい。見直し等については承知して
ない。

AQ
詳地
方に
交付税増の主な要因は。
細方につい伸びる要因は。
思にがう。國の総額が増額になつたこと。
う。配分の増と、うのもあり得ると。

Aふるさと納税で、減額の理由はコロナウイルス感染症の影響による収入減ではないかと考えている。対策等についでは、紹介するHPを2つ増えやし、返礼品を増やしている。

Q **A** **Q**
国有提供施設等助成金は、前年度に比べ383万円減。減の理由、配分の基準、増額等についての対策や交渉等を講じているか。
配分に向けた対策や交渉等については県内基地所在市町村で連絡会議を設け交付金等の増額について要請している。一般寄附金の収入済額は前年比4700万円減となっている。その理由と対策は。

A **Q** **A** **Q**

令和3年度歳入の軽自動車税の不納欠損額20万8713円、収入未済額102万4481円の内容は。
不納欠損数は35件、17人。収入未済は現年度分58台、過年度分113台。
密集市街地区整備事業で建設された
都市再生住宅への入居状況は。
18世帯戸数で建設し、現在3世帯が入居。残り15世帯は、補償交渉・契約後入居する予定。

A 夜間休日緊急等相談支援業務委託料について昨年の実績で1件しかないが、事業継続するのか。

A 件数は少ないが、比謝川の里に土日・夜間対応を委託している。万が一のこともあるため、継続していきたい。

Q 無電柱化推進計画策定業務委託料の内容は。

A 町内における無電柱化を行う路線の抽出と優先順位等を明確にしながら、今後の道路工事と合わせ、無電柱化を行うための計画を策定するもの。

A町民サービス向上のため、公式アカウントにメニューを追加している。ボタン式で基地被害登録やチャットボット機能も追加。9月13日現在5655人が登録。

Q 収入未済額として計上。不納欠損処理に向けて条例制定等の準備をしている。LINE公式アカウントの町民登録件数、LINE機能拡充しての効果と評価は。

2年一度も同額で、東駐車場関連の代金未回収と思われるが、請求行為ができるのであれば、不納欠損の手続きをとつたほうがいいのでは。

A
由は。また、新しい施設について太陽光発電システムのパネルを設置する予定が。
売電単価が年度ごとにかなり安くなつており、設置年度によつて売電額が変わつてゐる。今後の公共施設の建て替え等に当たつては太陽光パネル等を設置して、CO₂削減や電力の補助的な活用ができるようを考えている。

Q & A こんな質問がありました。

令和3年度決算 議会がチェック！

令和3年度 決算額 (1万円未満を切り捨てているため、差額に誤差があります)

会計名	令和3年度		差引差額
	収入済額	支出済額	
一般会計	122億1707万円	118億8972万円	3億2734万円
特別会計	国民健康保険	18億8756万円	9235万円
	下水道事業	3億6375万円	5050万円
	後期高齢者医療	2億6130万円	150万円
水道事業会計	3億4644万円	3億3701万円	942万円

※水道事業会計には資本的収入及び支出の金額は含まれておりません。

令和3年度 町の収入(歳入)

収入済額 **122億1707万円**

町民1人あたり年間約92万円収入がありました。

自主財源 **45億1594万円 約37%**

依存財源 **77億 113万円 約63%**

令和3年度 町の支出(歳出)

支出済額 **118億8972万円**

町民1人あたり年間約90万円使われました。

※下記以外にも使われた費用があるため、1人あたりに使われた金額と目的別使用額の総計とは異なります。

教育や文化・スポーツ振興のために(教育費)



1人あたり 14万7831円

商業や観光振興のために(商工費)



1人あたり 13万9995円

計画推進、防災、選挙、
衛生のために(公費)



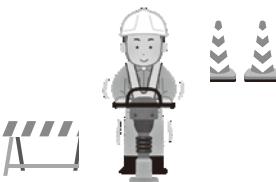
1人あたり 8万8695円

子ども、お年寄り、
障がい者のために(民生費)



1人あたり 26万848円

道路や住宅整備、
その管理のために(土木費)



1人あたり 9万5520円

予防接種やごみ処理、
健康増進のために(衛生費)



1人あたり 4万8113円

借金(町債)返済のために
(公債費)



1人あたり 2万6424円

消防費として(消防費)



1人あたり 2万650円

議会運営や議員報酬など
のために(議会費)



1人あたり 9251円

農林水産業のために
(農林水産業費)



1人あたり 2419円

パパループ地区への防錆整備格納庫移設を前提とした文化財調査を即時中止し、移設計画の撤回を求める意見書及び抗議決議

官から嘉手納町長等に対し「防錆整備格納庫をパパループ内、住宅地側の区域に規模を拡大し整備する予定である」との説明があり、町から報告を受けた本町議会は、住民居住地に大規模施設を近接させる当該移設計画は周辺環境に多大な影響を与える町民へもたらす基地被害の増大が容易に予想され、

パパループ地区の使用固定化に繋がりかねず断じて容認できないと、7月19日に臨時会を開催し移設計画の即時撤回を求める意見書・決議を全会一致で可決し、日米両政府及び関係機関に抗議してきた。その後、在沖米軍が平成31年4月までにパパループ地区への建設を計画していたことが明らかになつた。計画から3年以上経過した今年5月まで本町をはじめ嘉手納基地周辺自治体に説明しなかつた在沖米軍に対しうれ不信心が高まり、町全体に怒りの声が広がっている。



文化財調査としての事前工事

このようなか8月8日、町民から町に「当該移設計画予定地付近で工事が行われている」との情報提供があり、沖縄防衛局を通じて米軍に事実関係を確認したところ、「北側

駐機場において、現在建設工事は行っていない。他方、将来的に行われる現時点未定のいかなる工事事業においても、文化財が損害を受けないようにするため通常の文化財調査を行っている。特定施設の建設開始を示すものではない」と回答。

ところが、その2日後の地元紙の取材に対し、米国防総省がパパループ一角にある緑地帯で進められている文化財調査は防錆整備格納庫建設を前提とした準備作業であることを認めたとの報道があった。記事によると、米国防総省は「文化財調査は現在緑地となつている1万2000m²内の16カ所で約5カ月間実施する」と説明し、「緑地帯から文化財等が発掘された場合は準備期間を変更する可能性はあるが、建設設計画そのものを見直す可能性は低いだろう」との見解も示した。

本町議会、町及び町民で構成する町基地対策協議会が移設計画即時撤回を求める中、パパループ地区内への防錆整備格納庫移設を前提とした文化財調査の開始は言語道断であり、激しい憤りを禁じ得ないと、パパループ地区への防錆整備格納庫移設を前提とした文



文化財調査現場視察



防衛局長へ要請



外務省要請



県議会議長へ要請



各会派要請

意見書・抗議決議後 要請行動実施

- ・沖縄防衛局長
- ・外務省特命全権大使（沖縄担当）
- ・沖縄県議會議長及び各会派代表
- ・嘉手納基地第18航空団司令官

化財調査を即時中止し、移設計画を撤回するよう、強く米軍側に申し入れることを要請する意見書及び抗議決議が提案され2名の賛成討論の後、全会一致で可決した。

陳情審査の経過及び結果

すべてのケア労働者の待遇改善を求める陳情書

この陳情は、「すべてのケア労働者を対象とした待遇改善事業を実施し、職員配置基準を大幅に増員すること」及び「自治体で働くケア労働者の賃上げが実施できるよう地方交付税を増額すること」を求めて提出されたものである。

2年以上続くコロナ禍のもと、医療・介護・福祉などの現場で働くケア労働者が、社会の必要不可欠なエッセンシャルワーカーとされる一方で、その役割に見合った待遇ではないことも取り上げられている。政府は待遇改善事業を実施しているが、利用申請等の手続期限が短期間だったために、多くの自治体労働者の改善につながらなかつた。

すべてのケア労働者を対象に、全産業平均との格差是正のため賃金の引上げ及び職員配置基準の抜本的な見直しを行い、確実に待遇改善に結びつく制度が不可欠であると考える。

以上を踏まえ委員会審査の委員長報告があり、本会議での採決の結果、全会一致で本陳情の採択を決定した。

「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限延長に関する陳情

この陳情は、「駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限を延長すること」を求めて提出された。

2023年5月16日で有効期限を迎える。日米両政府は、「在沖海兵隊のグアム移転及び嘉手納以南の基地返還と北部基地への統合」などを含む在日米軍再編に関する合意をしており、「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画も発表されています。海兵隊施設には4857人、嘉手納以南の対象施設には3622人（令和4年3月）の日本人従業員が勤務しており、状況如何によつては駐留軍等労働者としての雇用継続が困難となる事態も懸念され、これまで以上に「駐留軍関係離職者等臨時措置法」に基づく雇用対策が不可欠であると考える。

以上を踏まえ委員会審査の委員長報告があり、本会議での採決の結果、全会一致で本陳情の採択を決定した。

その他9月定例会で審査報告のあった陳情の採決結果

【賛否の分かれた議案はなし】

陳情の件名	採択結果
道の駅かでな駐車場増設に関する要望書	採 択

陳情とは

行政に関することについて、議会に直接要望すること。
議員の紹介は不要。



請願とは

行政に関することについて、議会に直接要望すること。
日本国憲法で保障された権利で、議員の紹介が必要。

第15回 臨時会 主な議案一覧

【賛否の分かれた議案はない】

件 名	議決結果
第三保育所建設工事（建築・電気設備・機械設備）請負契約について	原案可決
嘉手納野球場解体工事請負契約について	原案可決
兼久海浜公園総合グラウンド照明LED化推進工事請負契約について	原案可決

第17回 定例会 主な議案一覧

【9月定例会において
賛否の分かれた議案はない】

件 名	議決結果
嘉手納町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
嘉手納町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
嘉手納町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
スポーツドーム人工芝張替工事請負契約について	原案可決
道の駅かでな学習展示室リニューアル工事請負契約について	原案可決
町道82号線整備工事請負契約について	原案可決
嘉手納公園再整備工事請負契約について	原案可決

令和4年度 一般会計補正予算（第3号～第4号）の概要

9月定例会において提出された補正予算案が全会一致で可決され、4号補正後の今年度一般会計予算の総額は111億8,953万円となった。

◆3号～4号補正の主な事業

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
- 中小企業者限定の事業継続支援給付金
- ・屋良東部地区地域振興施設指定管理料

令和3年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは

地方自治法及び嘉手納町議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員が町政の課題や町民の意思を把握し、町政に反映させる活動等に要する経費に対して交付されます。

支 付 額

1月あたり1万5千円交付

返 還

残余がある場合、残額は町へ返還されます。また、交付総額より支出が多い場合は自己負担となります。

令和3年度 政務活動費収支総括表

議員名	交付額計	支 出						支出計	残 高
		調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費		
嵩原 妙子	180,000	0	0	0	2,760	0	8,478	11,238	168,762
福地 義広	180,000	0	0	0	0	0	7,495	7,495	172,505
仲村 一	180,000	0	0	0	0	0	7,333	7,333	172,667
志喜屋孝也	180,000	0	0	0	0	0	32,880	32,880	147,120
花城 勝男	180,000	0	0	0	0	90,452	10,000	100,452	79,548
宇榮原京一	180,000	0	5,800	0	0	15,633	12,967	34,400	145,600
古謝 友義	180,000	0	0	0	0	16,633	7,821	24,454	155,546
安森 盛雄	180,000	0	0	0	0	6,724	42,649	49,373	130,627
新垣 貴人	180,000	0	0	0	0	0	10,460	10,460	169,540
照屋唯和男	180,000	0	0	2,558	0	5,661	9,828	18,047	161,953
當山 均	180,000	0	0	0	8,756	7,050	10,611	26,417	153,583
金城 利幸	180,000	0	0	0	0	1,000	11,100	12,100	167,900
奥間 常明	180,000	0	0	0	0	0	0	0	180,000
田崎 博美	180,000	0	0	0	65,000	71,221	16,874	153,095	26,905
石嶺 邦雄	180,000	47,800	29,325	0	0	9,972	8,757	95,854	84,146
仲村渠兼栄	180,000	0	0	0	0	65,788	29,645	95,433	84,567
	2,880,000	47,800	35,125	2,558	76,516	290,134	226,898	679,031	2,200,969

町政を問う

燃木・丁木/ルル 哀貝

14人の議員が一般質問

(質問順)

花城勝男 P8

都市計画マスタープラン及び人口減少対策を問う

當山均 P9

「防錆整備格納庫移設計画」撤回に向け、今後の具体的取組を問う

金城利幸 P10

いまこそ町民の強硬団結で米軍防錆整備格納庫建設の断固阻止を

古謝友義 P11

兼久海浜公園整備計画全般について問う

安森盛雄 P12

働き方改革の進捗を問う

仲村一 P13

子ども医療費助成の拡充を

照屋唯和男 P14

保育所運営計画がどのように考えられているか

福地義広 P15

嘉手納基地パパループ内への防錆整備施設建設計画について

嵩原妙子 P16

道の駅かでなについて問う

志喜屋孝也 P17

生ごみ処理機キエーロの普及を問う

奥間常明 P18

西浜区に児童館建設を求める

田崎博美 P19

後期高齢者医療制度の運営状況の動向について

新垣貴人 P20

コミュニティバスの早期導入を求める

宇榮原京一 P21

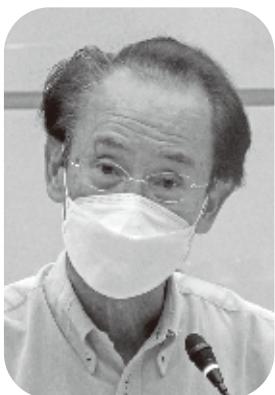
商店街の活性化を促す



問 (2006年策定)の検証と、2

行政区	人口	年少人口	生産年齢	高齢者	年少率	生産年齢率	高齢者率
東区	3,095	621	1,744	730	20%	56%	24%
中央区	1,616	209	874	533	13%	54%	33%
北区	1,712	229	1,026	457	13%	60%	27%
南区	1,289	199	761	329	15%	59%	26%
西区	1,849	312	1,072	465	17%	58%	25%
西浜区	3,683	675	2,203	805	18%	60%	22%
合計	13,244	2,245	7,680	3,319	17%	58%	25%

人口減少が続く嘉手納町の年齢別割合！ 2022年7月現在人口



花城 勝男

都市計画マスター・プラン及び人口減少対策を聞く

022年度都市計画マスター・プラン方針改定の各種委員会とワークシヨップの概要と進捗状況は。

都市建設課長 検証は課題の解決

状況と改定後の計画への位置づけはアンケート調査集約後、対面のヒアリングを行い、詳細な確認作業を実施。2022年度の改定は副町長を委員長とする

確認作業を実施。2022年度

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

嘉手納町特有の基地被害に関する施設等配置図



當山 均

「防錆整備格納庫移設計画」撤回に向け、今後の具体的取組を問う

町長 これまでの町から要請を受け、防衛・外務の各機関においては要請内容を踏まえた交渉をしており、現在その状況を注視しているところである。

問 近日中に町民大会を開催する考えはないとのことだが、基地使用協定案を策定したときと同様に町・議会・町基地対協・自治会長会や町内各種団体で構成する「(仮称)移設計画の即時撤回を求める町実行委員会」を早急に組織化することを提言する。

町長 今後の状況を油断なく注視しながら有効な対策を講じていく必要がある。今、提言をいただいた取組についても一つの選択肢になると思うので、是非、参考にさせて頂きたい。

問 8月末、「町長はこれまでの要請結果を踏まえ、町民大会をどうするか考えたいと述べた」との記事が掲載されたが真意は。まるでは解決が難しいという判断のときには様々な方法を検討しなければならない。町民大会も選択肢の一つである。

町長 今、積極的に町民大会を考えるという発言ではない。このままでは解決が難しいという判断のときには様々な方法を検討しなければならない。町民大会も選択肢の一つである。

問 対象人数、実際にテストを受けた人数は。

教育指導課長 対象となる本町の小学6年生は147人でテストを受けた人数は133人。中学生3年生は167人が対象で153人がテストを受けた。

問 各科目の平均正答率は。

教育指導課長 本町小学校の各教科の平均正答率は国語66%、算数64%、理科65%。中学校は国語61%、数学38%、理科40%。

平成31年度から今年度までの結果における県平均、全国平均と比較したポイント差の推移を見ると、小学校は年度によつて上下変動はあるが全国水準。

中学校は国語・数学とも平成31年度から改善されているものの、全国平均と比べて国語で8ポイントの開き、数学は13・8ポイントの開きがある。

問 町民住宅において公募にかけず長期間留保している戸数の増加傾向に疑義を抱いている。留保している理由、留保終了期間は。

都市建設課長 今年8月末時点で留保している部屋は、屋良住宅は最長で2年5ヶ月が1戸、1年半以上1戸、半年以上3戸、半年未満1戸の計3戸。合わせて9戸を留保。

町密集市街地地区整備事業（字嘉手納2番地地区）の開始に伴い、権利者の意向調査を踏まえ住居移転先として都市再生住宅18戸を建設した。建設着手以降も移転補償交渉を継続し、その結果、移転先が不足するこ

とが判明したため、屋良町営住宅及び水釜高層住宅の空き家待ち募集を停止し、移転先として確保している。

本整備事業にて公営住宅への移転を希望されている方々の移転補償契約を今年度中と予定しているので、令和4年度中には留保期間を終了していきたい。

全国学力テスト結果を踏まえ、児童生徒の学力定着度を問う

今年4月、全国の小学6年生と中学3年生全員を対象に実施

町営住宅において、公募せず留保している戸数増に関し

問 米軍基地があるが故に発生する様々な事件事故。嘉手納町民は今日まで7年間に渡り快適な生活環境を破壊されてきた。航空機墜落事故では尊い町民の命が奪われ、家屋建物損壊をはじめ、落下物・燃料漏れ。今なお続く航空機騒音・排ガス悪臭の問題。その一方で旧海軍駐機場は20年の歳月をかけて住民近接地から移転が実現したのだが、ここにきてパパループへ新たにサビ落とし格納庫建設と塗料粉塵・騒音問題が勃発。建設が実施されると子や孫の時代まで長年にわたって生活環境汚染に脅かされる事態になる。もうこれ以上の基地被害を受忍することは阻止せねばならない。

いまこそ町民の強硬団結で米軍防錆整備格納庫建設の断固阻止を



金城 利幸



町内各所に「米軍のサビ落とし格納庫建設阻止」の「のぼり旗・横断幕」が

町・議会でも全会一致のもと反対決議決定で抗議・要請行動が実施されているが、マスコミ報道をはじめ、さらなる手法を講じて県内外・国外にもこの危機を発信することが責務では。すでに町民有志の皆さんの中では建設阻止を明示した「のぼり旗・横断幕」での意思表示運動も始動している。

問 基地と地域振興予算はリンクするか。當山町長へは三度目の同質問となり恐縮であるが、あえて格納庫問題対応に関する影響はないか伺いたい。

町長 日米安保の要の基地を町域に抱えて、様々な基地負担を強いられている町や町民に対しても基地からの障害緩和と民生安定を図るために必要な財政的措置がある限り求めていく。同時に新たな基地負担の受け入れは新しい事をご理解いただきたい。

基地と地域振興予算はリンクするかと質問するか當山町長の所見を伺う

町長町はこれまで防衛外務の各機関に防錆整備格納庫のパペループへの建設計画撤回を求め要請している。これを受けて現在防衛外務では米側との交渉を鋭意行つており、その状況を注視している。この建設計画を止めるにはより有効な方策を検討して行く必要があると思う。いろいろな観点からの提案をいただいた要件については、参考にさせていただきたい。

問 基地と地域振興予算はリンクするか。當山町長へは三度目の同質問となり恐縮であるが、あえて格納庫問題対応に関する影響はないか伺いたい。

町長 日米安保の要の基地を町域に抱えて、様々な基地負担を強いられている町や町民に対しても基地からの障害緩和と民生安定を図るために必要な財政的措置がある限り求めていく。同時に新たな基地負担の受け入れは新しい事をご理解いただきたい。

福社課長 本町独自の支援は「事業継続支援給付金」として令和2年と3年度に各年度10万円の支給。3年度は「特定中小企業者事業継続支援給付金」として35万円給付。介護サービス事業者の活用実績で「事業継続支援給付金」は令和2年度（5件）3年度（4件）「特定中小企業者事業継続支援給付金」（2件）。

4年度は比謝川の里30周年記念事業へ介護浴槽取り換えの機器購入の一部として500万円の助成実施。

問 コロナ禍の環境下にあって入居型高齢者施設・デイサービス施設での利用者や職員の感染が相次ぎ施設経営に影響が出ていること。町内施設の経営状況把握と適時な支援対応を。

福祉課長 町内介護サービス事業所から経営問題に関する相談は現在のところは無い。

今回の防錆整備格納庫問題は全く無関係でリンクしない。断固とした姿勢で引き続き臨んでいきたい。

町内介護施設のさらなる実態把握と適時支援を



古謝 友義

として検討している。

嘉手納町の観光資源について問う

比謝川堰について問う

問 兼久体育館の工事はいつから始まるのか。

ついて問う

問 令和3年度で撤去を完了予定

だつたが、未だ工事が始まつて
はない。洋ノハスアヅユーレは

知らない語らしいフレーズに対する確認しているか。

都市建設課長 河川管理者との調
整や設計に時間を要し事業計画

を変更していく、令和6年度末までに撤去完了予定とのこと。

問 工事の施工方法は確認してい

都市建設課長 県による工事説明 るか。

会を行つており確認している。

問 火薬類の使用はあるのか

予定はなく、騒音に配慮した静的破碎剤を使用し、コンクリート

トを破碎することになつてゐる。

問工事期間中のガヤック事業に問題はないか。

都市建設課長 堀上流側水位は低下するが、下流側は水位には特

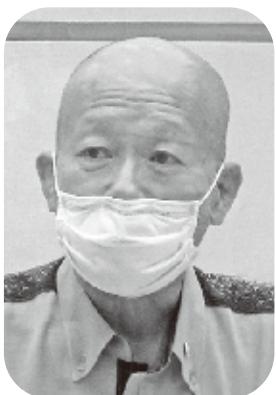
に影響はない。

問 一尋口の添文等の文庫は研議しているか。

都市建設課長 工事に起因して堆積するような流木等は適切に処理

理すること。但し工事範囲

都市建設課長 現在の場所を基本



安森 盛雄

働き方改革の進捗を問う

問 2019年4月1日より働き方改革関連法案の一部が施行され、大企業だけでなく中小企業、地方自治体にとっても重要な経営運営課題の一つとして認知されている。当町において町長部局、教育委員会関係の働き方改革進捗を伺う。

総務課長 特に超過勤務については人事担当部署において安全衛生委員会で状況報告を行うとともに、必要に応じ該当職員、管理職を含め状況確認を行い、対策を検討する等の対応を実施。

教育指導課長 学校の担う役割の多様化、複雑化に伴つて教職員の負担増加は長時間勤務という形で表れている。教育委員会としては長時間勤務の実態把握、先生方の勤務時間を管理するため出退管理機能を持つ学校用グループウェアミラームを導入

している。年次有給休暇を促進し、休日を確保するため夏季休業中の8月、第2週の水、木、金曜日を学校閉序日として設置。その他、学校行事の見直し、部活動の休養日や活動時間の適正化等も推進している。

問 教員の給与に含まれている残業代は何時間か。

問 教育指導課長 月額4%

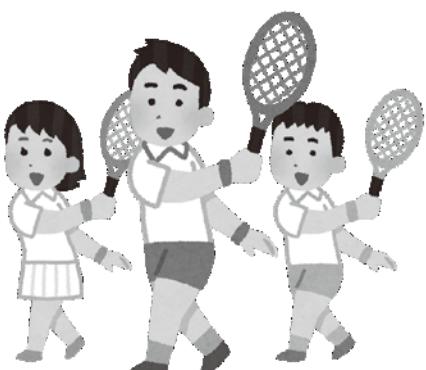
問 町長部局の庁舎内の残業については満額支給されているか。

また、正職員、非正規職員同じ待遇か。

総務課長 当然支払われている。常勤職員、会計年度任用職員同様である。

問 現在、教職員の中でどれだけの残業をしているか。

教育指導課長 中学校において昨年12月に100時間以上勤務した方が2人いた。



管理職の受け答えに疑義を感じるが

問 教育に力を置いている嘉手納町としてどのような見解を持っているか。

総務課長 状況を踏まえた上で支援が町長部局から可能であれば、相談に乗つていきたいと思っていところである。

問 部活度指導員についての進捗は。

問 教育指導課長 今年の4月に教育

長・指導主事・教育委員会内事務局・5係長の7名をメンバーとするプロジェクトチームを立ち上げ定期的に調査研究が進められている。

問 沖縄県内にモデル指定された市町村があるが直接視察など聞き取りに行つたことがあるか。

教育指導課長 実際に話を伺いに行つた、そういう調査研究はしていな。

問 当然に私たち議員は管理職から聞いたことを町民に応える。

しかし、その答えが真逆なら私はうそつきになる。分からなければ、再度丁寧に説明し納得できるよう真摯に応えさせていただきたいと考えている。

問 当然に私たち議員は管理職から聞いたことを町民に応える。しかし、その答えが真逆なら私はうそつきになる。分からなければ、再度丁寧に説明し納得できるよう真摯に応えさせていただきたいと考えている。

副町長 議員側の面目をつぶしてしまい申し訳ありません。管理職の答えと議員に対しても答えたものがその後違うようなことがあれば、ぜひ管理職についてはきちんと訂正などをするよう指導していきたい。

副町長 議員側の面目をつぶしてしまい申し訳ありません。管理職の答えと議員に対しても答えたものがその後違うようなことがあれば、ぜひ管理職についてはきちんと訂正などをするよう指



仲村 一

嘉手納弾薬庫地域に太陽光パネルの設置を

子ども医療費助成の拡充を

問 沖縄県で高校卒業まで医療費助成を行っている自治体は11市町村ある。北谷町も今年の10月から助成する事が決定した。

本町も子育て世代の負担を減らすべく高校卒業まで拡充する時期では、今後の予定を伺う。

子ども家庭課長 令和5年4月から実施に向けて準備を進めてい

る。

問 臨時交付金を使って単年度で行う自治体もあるが、本町は継続して行うのか。

子ども家庭課長 そのまま継続して行う。

問 中学校を卒業して就職をする方もあるが、そういった方々も対象になるか。

子ども家庭課長 18歳になつて最初の3月31日までは、働いていても関係なく該当する。

産業環境課長 国は温室効果ガスを2050年までにネットゼロという目標を立てているが、提供施設内の取組は国が検討する事であり、担当課としては町民の生活圏の取組を重点的に考えるべきだと考える。

さくらねこのボランティアを問う

問 全自治会長はこの事業の事を把握しているか。

産業環境課長 自治会長にはこの事業を説明している。

問 担当課の方で猫ボランティアを募集しているという告知はできるか。

産業環境課長 担当課として自治会と動いて、この事業を全区広げていこうと思う。

問 現在、西浜区・南区において猫ボランティアの方々が野良猫を保護して去勢手術を行い元居た場所に戻すことを行つていて以前は自己負担で行つていたそ

うだが現在は国の補助を受けてやつてている。嘉手納町全域でやるべきだと思うが見解を伺う。

産業環境課長 令和元年よりNPO法人動物基金の実施するさくらねこ無料不妊手術事業に参画

しており、令和2年1月西浜区において23匹の野良猫の保護及び去勢手術を実施して以降、延べ124匹の去勢手術を実施している。各区の自治会長を代表として嘉手納町全域で行つて

い。全国的な事業なので早め早めに申請を行つている。

問 124匹の各区別の内訳は。

産業環境課長 猫好きなボランティアの方や活動家がないとできないので、全区がそういう取組を行つてはいないところもある。



さくらねこ



さくらねこ



さくらねこ



さくらねこ



照屋 唯和男

保育所運営計画がどのように考えられているか

基地被害負担になる米側の計画等に対し、迅速に対応を

問 第三保育所の建て替え計画が進み、将来的に第三保育所と第二保育所を統合し運営する計画があると聞くが今後の運営計画は。

子ども家庭課長 第二保育所は民営化を推進。建て替えを含め今後の施設の在り方については、検討の時期に至っている。

問 第三保育所の敷地に学童も将来的に建てる計画か。

子ども家庭課長 学童と児童館も含め、今後必要な場合に整備。

問 「第2期嘉手納子ども子育て支援事業計画」に基づき、待機児童の解消を図るために、認可保育園の定員拡大に取り組んでいようと。認可保育所設置・運営事業者の応募状況は。

子ども家庭課長 定員19名以下の小規模園と定員70名の認可保育

所の2種類の園について公募を行い、小規模園に4社、認可保育所に4社の合計8社の事業者より申請。今後、9月末から10月上旬にプロポーザル方式において選定を行う予定。

反応を確認しながら検討。

問 新聞紙上に2019年4月時点で計画と在日米軍のHPに出していたとあったが、その時点での情報収集は不可能か。基地内整備事業へ入札参加した業者はどう情報収集しているのか町で調査できないか。

基地涉外課長 米軍の事業、工事等の入札状況がインターネットに出ているということについては把握していない。今後はそういった情報をどう集められるか課内で検討してみたい。

問 8月29日に防衛局に移設計画の見直し要請に宮崎政久代議士と中川県議、それに同行して町長が同席している。町から要請依頼したのか。

町長 基本的には主張的に動いてくれた。私も時間的に都合がついたので同行した。今回、地元の中川県議と宮崎代議士が動いて防衛大臣まで要請をさせていただいた。これについては当然、嘉手納町の問題解決に向けて大きな後押しになつたと思っており、県議会にてもそれなりの対応が今後行われていくのではないかという感触を持った。

問 防錆整備格納庫がどのような

ものか、知り得る必要は。

町長 大規模な航空機のさび止めをする塗装工場だと受け止め住民地域に近いところで建設されること自体あつてはならないと認識し、基本的に駄目だと調査するまでもないという姿勢。

農業者支援への取り組みを



計画の見直しをいち早く要請

問 農業者は高齢の方が多数で、収穫時に若手の労力を必要としている。農業者支援隊と農業者への収入に負担がない協力体制の構築ができるか。

産業環境課長 現在JAおきなわにて人手を求めている農家の方へ、農作業の雇用に関する要望を取り持つ農作業人材サポートというサービスを実施。JAおきなわ嘉手納支店と連携し、必要な方へ紹介していく。

町長 同格納庫建設計画は、当該施設が危険性や環境悪化のおそれがある構造に類する施設であると考えられ、このような周辺環境に多大な影響を及ぼしかねない大規模な施設が住民地域近くに建設されることは断じて容認できないとの立場である。現在でもパループ地区の継続使



福地 義広

用の問題が続いている、また同地区周辺からの排気ガスの悪臭問題も解決していない。そうして中で問題のある新たな施設が建設されれば、基地被害のさらなる増加やパパループ地区の恒常的な使用につながりかねないと大きな懸念を抱いている。

よつてパパループ地区への同計画の即時撤回を求めてこれまで日米の関係機関に対して要請行動等を実施してきた。現在は防衛外務の各機関において、要請内容を踏まえた交渉が米側と銳意行われていると認識している。

一方で、同格納庫建設計画は、既存施設の老朽化等に伴う建て替えであり、今回工事は米軍の裁量のきく基地内での工事であり、予算も米側の予算で、今年4月には関連予算が既に議会に提出され、下院においては可決済みで、その後上院でも可決の見込みであること等を踏まえた場合に、建設計画そのものを撤回させることは難しいと考えている。しかし、だからといって住民地域に近いパパループ内への建設は、さきほど述べたところ到底認めるわけにはいかない。このため滑走路の反対側で、住

民に影響のない場所に建設するか、それがどうしても無理ということであれば、現施設から北側後方へ約60m程度ずらすことにより、建設は可能ではないかということで代替案を提案した。これは何としてもパパループ内での建設は回避したいとの強い思いから提案したものである。

問 代替案提案について、町民からは一部容認のような態度は米軍に隙を見せることになる。求めるべきは基地負担の軽減である、との指摘が町民から上がっている。町長の所感を伺う。

町長 たしかに基地負担の軽減に重きを置くことにこしたことはない。しかし、これまでいろんな米軍基地内での施設の整備等について反対を申し入れても、結果的には基地の中、なおかつ米軍の予算だということで、建設がどんどん進められていつたこと等を踏まえ、私が判断した計画自体が白紙撤回できるのであればそれにこしたことはないが、そうせざるを得なかつたということである。

問 他の議員からも提案があつた計画を撤回させるために、町全体で建設計画阻止委員会等の結

問 町内では既に「サビ落し格納庫建設やめる!」との声が上がっている。町民は、町長がその声に応えるのを待っている。

町長 現在、国、特に防衛外務に
対して、町として、この課題を
何とか解決してもらいたいとい
うことを要請し、それを受けて
国のほうも今、米軍側と精力的
にその交渉をしていただいてい
る。期待を持つて国の方に要
請をしている中で、そういう行
動を起こすことが後押しになる
のかについては、慎重に考える
必要があるのでないかと思つ
ている。

成や町民大会の開催等の大きな行動、うねりが必要だと考える
町長の所感を伺う。



嵩原 妙子

置等も含めて、どのような方法があるのか検討したい。

町内の交通安全対策について

道の駅かでなについて
問う

問 4月28日にリニューアルオープンし、今後の嘉手納町の観光産業に貢献するものと期待する。

産業環境課長 来場者数の増加に伴い駐車場から施設内へ渡る際、横断歩道の標示がないため、安全対策上に問題がある。対応が必要と考えている。

問 駐車場が遠いという声がある。建物敷地内に数台でも駐車できるスペースを確保できないか。
産業環境課長 野國總管銅像の前を含めて、スペースを有効に活用できるよう、調整を測つていただきたい。

問 せっかくの農産物コーナーが県道沿いからは目立たないと声がある。

産業環境課長 今後、県道沿いの壁面への入居テナントの看板設

問 第三保育所前の町道は横断中の人が見えにくい。また横断する人からも車が見えにくいため、大変危険である。注意喚起などの対策をとつては。

都市建設課長 交差点付近には横断歩道手前に街路樹と電柱があり、車両の運転手が歩行者を認識しにくい。注意喚起の看板や区画線での誘導、街路樹の撤去など、どのような対策が有効か、自治会等への聞き取りや、嘉手納署からも意見を伺い、対策を講じていく。

帯状疱疹ワクチン接種の助成について問う

問 町民の健康寿命の延伸と病気の予防は極めて大事なことである。帯状疱疹は加齢やストレスなどで免疫力が低下した際に皮膚や神経に炎症を起こす。60代から80代には約3人に1人がかかると言われており、発症する

問 帯状疱疹ワクチンの町民への周知、接種の推進はされているか。

町民保険課長 町が実施する行政措置の予防接種に含まれていなければ、周知、接種の推進は行つていない。

問 帯状疱疹に対するワクチン接種の費用は高額のため、諦める現実があるのでないか。そこで全額、または半額助成はできな

問 医学的には眼鏡をかけてもよく見えていないという状態を弱視という。弱視の割合は50人に1人の割合でいると言われ、早期発見により治療が可能である。嘉手納町の3歳児検診において視力検査はあるか。

子ども家庭課長 町の3歳児検診での視力検査は、ランドルト環を用いた検査を実施している。

問 Cの形をしたマークのランドルト環は大事な目の検査は、3歳児には限界がある。弱視等の早期発見のために屈折検査機器の導入はできないか。

子ども家庭課長 今年5月に屈折検査の機器を購入し、6月から3歳児検診で実施している。これまで2人の目の異常が発見され、病院への案内等を行つた。



今年5月から導入された屈折検査機器「フォトクリーナー」で目の異常の早期発見を

3歳児検診で視覚検査、弱視などの早期発見を

と強烈な痛みで日常の生活にも支障をきたす。そこで帯状疱疹ワクチンの効能効果をどのように考えているか。

町民保険課長 带状疱疹では発症の予防、早めの治療が重要であり、発生率を低減させ、重症化を防ぐとされるワクチンの接種については効果的である。

問 帯状疱疹ワクチンの町民への周知、接種の推進はされているか。

町民保険課長 町が実施する行政措置の予防接種に含まれていなければ、周知、接種の推進は行つていない。

問 帯状疱疹に対するワクチン接種の費用は高額のため、諦める現実があるのでないか。そこで全額、または半額助成はできな

問 医学的には眼鏡をかけてもよく見えていないという状態を弱視という。弱視の割合は50人に1人の割合でいると言われ、早期発見により治療が可能である。嘉手納町の3歳児検診において視力検査はあるか。

子ども家庭課長 町の3歳児検診での視力検査は、ランドルト環を用いた検査を実施している。

問 Cの形をしたマークのランドルト環は大事な目の検査は、3歳児には限界がある。弱視等の早期発見のために屈折検査機器の導入はできないか。

子ども家庭課長 今年5月に屈折検査の機器を購入し、6月から3歳児検診で実施している。これまで2人の目の異常が発見され、病院への案内等を行つた。



今年5月から導入された屈折検査機器「フォトクリーナー」で目の異常の早期発見を



志喜屋 孝也

いない。

問 町内の生ごみの1ヶ月t数は平成31年3月議会にて24.6tと答弁があつた。現在のt数は。

産業環境課長 一般家庭由来の生ごみが月当たり21.5t、事業所由來の生ごみが8.1t、合計29.6t。

生ごみ処理機キエーローの普及を問う

問 「キエーロー」は、黒土に含まれるバクテリアの力を活かし、生ごみを分解、消滅させる生ごみ処理方法である。全国の自治体で普及が進むキエーローについて町の考え方は。

産業環境課長 町内事業所の販売価格が半額程度に改定されていたことから、広報誌によるキエーローの処理方法について情報提供を検討する。



生ごみ処理機「キエーロー」

産業環境課長 今後、実証実験の検討をする。

問 キエーローのメリットとデメリットは。



問 現在の生ごみ処理機補助金・**産業環境課長** 補助金の改正予定はしていない。

問 現在の生ごみ処理機補助金・**産業環境課長** 購入台数と評価は。

産業環境課長 令和3年度生ごみ処理機2件、電気式生ごみ処理機1件。アンケートや調査を実施していないので、評価できて

問 eスポーツとは。
社会教育課長 エレクトロニック・スポーツの略で、電子機器を用いた対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

問 eスポーツに対する町や教育委員会の考え方。
社会教育課長 教育的観点から内容の精査が必要となり、また生活習慣や身体的な影響についても考慮すべきである。

問 ネットゲームの依存症の子ども達の状況は。

社会教育課長 ネットゲーム依存症に関する相談や、ゲーム依存症の治療サービスを受けている事例もない。

問 町内の小中学校の設置状況。
嘉手納町の公共施設の温水洗浄便座の設置を問う

学校名	台数
屋良小学校	9
嘉手納小学校	7
嘉手納中学校	0
合計	16

小中学校における温水洗浄便座の設置状況

町指定ごみ袋をレジ袋に活用

問 買い物をする際はエコバック（マイバック）持参を推奨して使用する取り組みを始めた自

治体があり、サイズも豊富で1枚からの販売可能である。町としての考え方を伺う。

産業環境課長 通常店舗で販売されるレジ袋に対し、町指定ごみ袋は高額であるものの、購入者である町民の選択肢が増える事は望ましいことであり、各事業者へのアプローチ方法を検討する。

問 スーパー、ホームセンター、コンビニや町内の商店街に提案し、レジ袋の削減を図れないか。
産業環境課長 ごみ袋の販売委託、一般廃棄物処理手数料、収受業務の委託先は各区自治会となつており、自治会より各卸先である事業者への声掛けを考えてい

る。



奥間 常明

西浜区に児童館建設を 求める

問 12年前から、提案し続けてい
るが、地域のニーズは高まるばかりである。そこで、次の各点について伺う。

①場所・予算・運営方法・地域
関係機関等について、どのような調査研究が行われているか。

②第3保育所建替えに伴い、敷
地内駐車場に建設する案が提示されたが可能なのか。

③兼久体育館建替え時、併設案を非公式に聞いたが、その真意は。

④防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律施行で、子育て支援の総合的な推進を図るために必要な施設なら補助できるとある。西浜区内にある遊休地化している遊興娛樂施設用地を交渉してはどうか。

⑤役場は、本当にやる気がある

のか、いつまでも思わせぶりの答弁はいらない。できるのかでききないのか、はつきりしてもらいたい。

⑥西浜区在住の町長に政策的な観点から所見を伺う。

子ども家庭課長

①平成30年度の

嘉手納町子ども子育て支援事業ニーズ調査で、西浜区にほしい要望が一定数あった。第3保育

所敷地内に増築できるような配
置計画を採用している。

②駐車場敷地内において、ピロ
ティ形式で、一階部分は整備前
と同様に駐車場として利用する
ことを想定している。

③児童館併設案はない。

④子ども居場所づくりは、児
童館建設にこだわらず、西浜区
コミセン等を活用できないか、
検討する。各校区に一か所あり、
少ないとは思わないが、児童の
健全な遊び場の提供、放課後の
安全な居場所の機能提供は考
えていきたい。

⑤台風時等、高潮発生状況を防

去年から新たなテストケースで、
児童館、居場所の確保について
は検討している。

西浜区埋立地域の 防災対策について

問 沖縄気象台によると「今後も
活発な地震活動の可能性があ
る」「強い揺れや津波から命を

守るために、日頃から備えてほ
しい」さらに台風による高潮対
策は最重要課題である。防災の

観点から早急な情報収集と迅速
な避難が大切と考える。そこで、
次の各点について伺う。

①6丁目7～12番一帯は、防災
行政無線が聞き取りづらいとの
声がある。マルチメディアセン
ター付近に設置されているが、
設置場所に問題があると思われ

る。その対応策は。

②6丁目地域（海拔2～2.
2メートル）防災用戸別受信機の
設置状況は。

③役場として、更に積極的な設
置推進活動を。

④停電時に備えて、避難施設に
長時間大容量のLPガス燃料発
電機の設置を。

⑤台風時等、高潮発生状況を防

火監視カメラ映像にリアルタイ
ムで、配信してはどうか。

総務課長

①職員による自宅訪問、
音響機器の調整、戸別受信機設
置の対応を進めている。

②令和4年7月時点で58世帯。
③チラシ配布、担当者から直接
電話での説明、推奨、自治会か
ら必要と思われる方の紹介を依
頼している。

④今後避難施設への発電機設置
を検討する中で、一つの候補と
して挙げられる。

⑤一般のインターネットにのせ
て地域住民が見ることは、現状
厳しい。



防災監視カメラ



防災行政無線、片方は海側を向いている



田崎 博美

後期高齢者医療制度の運営状況の動向について

問 健診受診率の推移について。
健診受診率の分母及び現在も治療を受けていたり、介護保険を利用していたり、また介護も医療も受けていない被保険者もいる。それらの方全て含めて受診率を出しているように思われるが他保険者もこのような算出方法になつていると理解してよいか伺う。

町民保険課長 後期高齢者医療制度は少子高齢化が進展する中、75歳以上の方などの高齢者医療を国民全体で支え合う仕組みとして平成20年4月から実施され、75歳以上の後期高齢者等を対象に適切な医療の給付、必要な保険事業を実施するため、都道府県を単位として県内すべての市町村が加入する沖縄県後期高齢者医療広域連合が設置されてい

る。広域連合は運営主体となり、財政運営を担い、保険料の料率の決定等を行い、市町村においては被保険者の便宜の向上を図るため、保険料の徴収業務及び届け出に関する窓口業務を担っている。後期高齢者健診・受診率の算出方法は、75歳以上すべての方が健診の対象となるが、6か月以上の長期入院者や介護施設入所者等は分母から除外している。また、そのほかに市町村で受診券の抜き取りをした方や郵送できずに戻ってきた方も分母から除外している。

問 一部負担金の割合について。
一部負担金の割合が2割だと、一度の受診で2倍の額を窓口で支払うので被保険者の負担は大きい。また、保険料についてはいつまで上がり続けるか、さらに後期高齢者医療制度はいつ破綻するのか見解を伺いたい。

町民保険課長 2022年度以降、団塊の世代が75歳以上となり、後期高齢者の医療費のうち窓口負担を除いて約4割が現役世代からも拡大していく見通し、そのため2022年10月1日から1割負担だった方で一定以上の所

得のある被保険者の方は窓口負担が1割から2割になる。施行後3年間は1か月の外来医療の窓口負担を3千円までに抑える措置が講じられる。

問 健診受診率の地域差制度の周知について、健診受診率の地域差が大きい。数字の高いところは何か特別な取組や努力がされていると思う。そういう成功事例や努力を参考に示してください。

町民保険課長 後期高齢者健診の実施主体は、後期広域連合となつており、制度の周知、受診率等の管理も広域連合が行っている。健診率が高い市町村は、ほとんどが離島で病院が少ないという理由から集団健診の受診率が高くなっていることも地域差が出ている理由の一つである。また、市町村の取組として、未受診者に対して、はがきの発送を市町村が行っている自治体もあるようなので、広域連合と連携し、本町でどのような取組が可能か考えていただきたい。

問 ジェネリック医薬品の普及、後発薬の飲み残しについて伺う。

町民保険課長 ジェネリック医薬品は開発費用がほとんどかかる



ないため、新薬の約5割から7割程度の価格で販売されている。切り替えにより薬代が軽減・医療費の削減にもつながるので、利用促進に向けて情報を発信し、周知していく。

問 健診受診率勧奨の手法について、レセプト情報を使って生活習慣病の治療中の方を除くなど、健診の受診勧奨をすれば保険者機能の向上といった観点からも効果的と思われるが見解を伺う。

町民保険課長 後期高齢者の方は約9割が何らかの医療にかかりている。かかりつけ医院で長寿健診の受診を促し、健診するよう広域連合から県医師会へ働きかけているとのこと。地域の健康課題の分析や対象者の把握を行い、事業を展開していく。



新垣 貴人

**コミュニティバスの
早期導入を求める**

問 平成20年12月議会からこれまで7回にわたり、コミュニティバス導入の提案を行つてきた。今回で8回目だ。

移動手段を持たない子ども達や町民の方々、高齢者や足腰の弱った人々、また障がいを持つ方々の交通手段として、コミュニティバスの導入は、町民から高い関心がある。また、観光客の町内周遊の移動手段としても機能する。交通弱者や交通空白地帯にお住まいの方々や町内観光客に対する地域交通対策を伺う。

町内巡回コミュニティバスの導入を提案するが見解は。

総務課長 タクシー利用助成を実施中なので現在、検討しているい。

町長 総合的な判断が必要。



鳳バス

**高齢者外出支援タクシー
料金助成事業の現状は**

問 令和3年度から当事業を実施し、令和4年度も継続事業だが、助成事業の成果を伺う。

利用実績と実証実験の結果について見解は。

問 鳳バスを嘉手納町へ延伸し、読谷村と協同運行できなか。総務課長 嘉手納町への延伸は、読谷村としては課題があると認識しているとのこと。その課題を町で解消しなければ交渉できないが、その件は現状では考えていいない。

教育環境の充実を図れ

問 教育の一CT化によって、子どもたちの学ぶ意欲の向上や効率的な学習の習得が期待される。令和4年度は支援員配置の予算が削減された。支援員は、ギガスクール構想の推進に必要だ。補正予算で支援員配置の予算計上を求める。

企画財政課長 担当課と協議し、必要性を確認したい。その上で検討する。

**屋良東部地区地域振興
施設の今後の整備を問う**

問 道の駅では、観光協会の設置、広場の拡張、飲食物販売施設等の整備が完了し、多くの人々が訪れる。更なる施設整備の充実に向けて伺う。

県道74号線沿いの壁面に誘客を促す壁画を描いては。

産業環境課長 テナント会や指定

福祉課長 令和3年度の利用実績は約6千枚で約76%。高齢者の外出機会が増え、行動と活動の範囲が広がった。

管理者と協力し、実現に向け検討する。

対策上の横断歩道の設置ができるか。

問 施設と駐車場間へ、交通安全産業環境課長 設置に向けて、道路管理者と調整する。



道の駅かでな

産業環境課長 指定管理者と協議し、金融機関と調査研究を行う。

道の駅がリニューアルされ、観光拠点施設として活用する。比謝川自然体験センターも同様な目的で建設され、長期にわたり計画実施、建設されたこの施設も町全体の起爆剤として活用させるべきだ、このことは誰もが認識しており、当然の事と考えている。しかし形として見えず雰囲気としても感じられない。コロナ感染拡大の終息が見えない状況の中、行動自粛などでイ



宇榮原 京一

問 受入れる商店街の取組、霧岡
産業環境課長 比謝川自然体験セ
ンター施設利用及び周辺での自
然体験とセットで利用客を商店
街に誘導し活用してもらうプロ
グラムを現在、観光協会におい
て検討している。

問 高齢者世帯の粗大ごみ出しの相談、問合せは。

問 青少年に対する総合的な相談、指導助言等の諸活動を行う中で無理のない人員体制、役割か。

問
商店街の活性化の質問については、これまで他の議員からも行われてきた。しかし抜本的な方針、対策、手法は形として見えず、にぎわいの雰囲気さえ感じない。空き店舗が減り、居酒屋等は人が増え、にぎわいが出てきたなどの話は聞くが、町全体のにぎわいのある町としては乏しいと感じる。

道の駅がリニューアルされ、

産業環境課長 両施設を活用した観光プログラムを商工会、観光協会、関係団体と連携し、町全体へのぎわいの創出ができるればと考える。

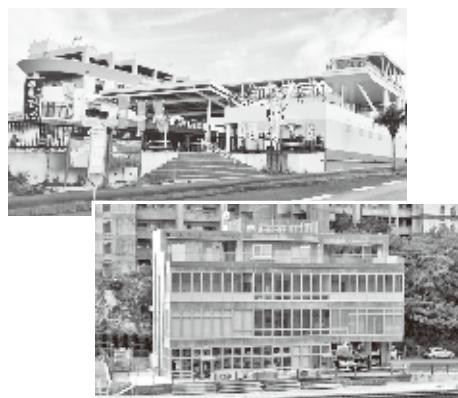
問 道の駅から商店街への誘客はどうのように。

問 中学校の部活動地域移行への現在の取組、今後のスケジュー
ルと課題等について伺う。

社会教育課長 現在、調査研究を行つており、令和7年度までに移行が行えるよう努める。課題は、学校側が必要とする組織、団体が集まるか、専門性の高い指導者を確保できるなど。

ベントや集客行事などが行われず、「コロナ」だからしかたがないなどの現状がある。大型店舗や居酒屋等は、なじみの客でどうにか経営が維持されている感があるが、「コロナ禍の現状だからこそ今できること、これから町行政、商工会、観光協会並びの活動を思案すべきだと考え、

産業環境課長 ごみ単体で用途を果たすものであれば1つと数える為、現状としてはできない。
問 不法投棄の現状は。
産業環境課長 把握している不法投棄場所は1か所。



町全体の起爆剤として活用が期待される「道の駅かでな」と「比謝川自然体験センター」

中学校部活動の地域移行への準備は

嘉手納町議会だより

町村議会議員・事務局職員研修会

令和4年10月13日、那覇市パシフィックホテル沖縄にて町村議会議員・事務局職員研修会が行われた。

第一部は沖縄県企画部企画調整課副参事城間直樹氏を講師に招き「沖縄振興について」、第二部は全国町村議会議長会議事調査部長の飯田厚氏を招き「町議会の議員報酬と政務活動費のあるべき姿・議会力アップのための条件整備を考える」をテーマに学んだ。



31日 比謝川行政事務組合定例会
14日 ゆがふう塾発表会
23日 県町村議会議員・
自治会館管理組合県外研修
(富山・岐阜・石川)
11日 県町村議会議長会定例会
25日 美ら島おきなわ文化祭開会式
27日 事務局職員研修会

10月 21日 第48回中部地区畜産共進会
2日 野國總管まつり
5日 中部広域視察研修（山形県）
7～9日 県町村議会議長会定例会
13日 県町村議会議員・
自治会館管理組合県外研修
(富山・岐阜・石川)

15日 農林健児之塔慰靈祭・
平和祈願祭
19日 沖縄県市町村自治会館
管理組合定例会
20日 秋の全国交通安全運動出発式

嘉手納町議会ホームページQRコード

議会の情報を
スマホでも
発信しています。
また、定例会・臨時
会の招集については、
嘉手納町のLINEで
もお知らせしています。

嘉手納町議会ホームページ
では、定例会・臨時会の会期日程や一般質問通告書、意見書・決議等を掲載し、情報を発信しています。

議長公務日程

議会だより

題字紹介

金城 咲彩さん



嘉手納小学校5年

筆で横書きは初めてだったので少しむずかしかったです。議会の議が思っていたよりうまく書けたのでよかったです。

います。家電が直った後のお客様の笑顔を見るのが樂しみで頑張ってきました。これからも物を大切にしてくださる方々のためにも体力の続く限り頑張っていきたいと思います。お気軽にお問い合わせください。

【共栄電器】〇九八一九五六一一三

【共栄電器】
幸地 武男さん
artisan Introduction



紹介職人



「うるさくて眠れないヨ!」基地被害110番
TEL:0800-200-4665へ

基地から発生する騒音等の苦情について職員の勤務時間外にも音声ガイドにて対応いたします。(通話料無料24時間365日対応)